

# 令和7年度 事業報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

軽費老人ホーム  
ケアハウスだいろ

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本137-1

TEL 0256-82-0855

FAX 0256-82-0866

# 令和7年度ケアハウスだいろ 事業報告

## 〈目 次〉

	ページ
職員業務分担表	1
1 基本方針	2
2 事業方針	2
3 職員体制	2
入居者の動向（年齢他）	3
〃    （入居期間他）	4
〃    （介護保険認定推移他）	5
〃    （稼働率他）	6
〃    （職員研修）	7
〃    （運営懇談会）	8
4 入居サービス・生活指導	9
5 保健衛生・健康管理	9
6 食事	10
7 行事・地域交流・サークル活動	11
8 防災	13
9 環境整備	13
10 連絡調整	14
11 定期活動報告	15
12 事故報告、苦情、要望、ヒヤリハット	16
13 補助金・助成金・事業報告	16
次年度に向けて	17

職員業務分担表

職員 の 状 況	職種	分担業務の内容
	職員 の 状 況	事務 全 般
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の運営管理記録全般の総括</li> <li>・ 職員の指揮監督</li> <li>・ 職員の人事管理に関する事項</li> <li>・ 事業計画の実施と予算の計画執行に関する事項</li> <li>・ 金銭の出納管理に関する事項</li> <li>・ 関係市町村、各機関との連絡調整に関する事項</li> <li>・ 関係機関、団体、地域社会との連絡調整に関する事項</li> </ul>		
生活 相 談		生活相談員（社会福祉主事） 石塚 智恵子
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入退去事務に関する事項</li> <li>・ 入居者の生活相談、指導に関する事項</li> <li>・ 入居者の処遇全般に関する事項</li> <li>・ 入居者、家族との相談に関する事項</li> <li>・ 運営懇談会の開催に関する事項</li> </ul>
生活 ・ 介 護 全 般		介護職員（主任）大澤 弘美 ・ 小酒井 晴那 （介護福祉士） （介護福祉士）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入居者の生活全般にわたる相談及び支援に関する事項</li> <li>・ 各種行事、レクリエーション、サークス活動に関する事項</li> <li>・ 職員の勤務割に関する事項</li> <li>・ ボランティアに関する事項</li> <li>・ 給食会議の開催に関する事項</li> </ul>	
給 食	給	委託業者 石本商事（株）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事の提供に関する事項</li> <li>・ 厨房内の衛生的に保全、管理に関する事項</li> </ul>

# 1 基本方針

## (1) 施設の目的

軽費老人ホーム ケアハウスだいろは、居宅において生活することが困難な高齢者を低額な料金で入居することを可能とし、生活上必要な便宜を提供し、高齢者が健康で明るい生活を送れるように支援することを目的とする。

## (2) 施設の方針

「老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。また老人は、老齢に伴って生ずる心身の変化に自覚して、常に心身の健康の保持に努める」という老人福祉法の基本理念に基づき、高齢者の特性に配慮し、安全で住みよい生活の場を確保し、入居者の自主性を尊重することに配慮する。

現在あるいは将来にわたり、生きがいをもって楽しい日々を過ごせるように食事の提供、入浴の準備生活援助、助言の機能充実、余暇活動の援助、在宅福祉サービスの対応、疾病や非常災害等のサービスの万全を期することを基本方針とする。

# 2 事業方針

入居者と職員の信頼関係に基づいた家庭的な雰囲気の中で、将来の生活との継続性を失うことなく在宅福祉サービス等を活用しながら入居者の能力を生かし、健康で潤いのある自立した、心穏やかな日々を支援する。

- (1) 「やすらぎ」と「生きがい」のもてる生活支援
- (2) 安全で住みよい生活の場と環境づくり
- (3) きめ細かいサービス提供と自立生活の推進
- (4) 地域交流と開かれた施設の推進
- (5) 円滑な苦情処理体制の確立

# 3 職員体制

- (1) 人員配置 (令和8年3月31日)

施設長（管理者）	1
生活相談員（社会福祉主事）	1
介護職員（介護福祉士）	2
宿直者	3

入居者の動向

令和8年3月31日

1 男女人数内訳

男性	女性	合計
12	22	34

2 年齢別状況

年齢	男性	女性	計
60-64			
65-69	2		2
70-74		2	2
75-79	4	1	5
80-84		5	5
85-89	5	7	12
90-94	1	7	8
95→			
計	12	22	34

	男性	女性
最少年齢	66歳	70歳
平均年齢	79歳10か月	85歳8か月
	83歳7か月	
最高年齢	91歳	92歳

3 日常基本動作状況

身の回り、動作、移動

自立	支えが必要
16	18

補助具利用者内訳

杖	シルバーカー	歩行器
3	1	14

日常介護（在宅福祉サービス利用）

清掃介護	入浴介助・見守り
8	7

4 介護サービス利用区分状況

	男性	女性	計
要支援1	4	4	8
要支援2		3	3
要介護1	3	8	11
要介護2		4	4
要介護3			
要介護4			
要介護5			
計	7	19	26

## 5 入居期間

入居年度	男性	女性	計
平成25年度	1		1
平成26年度	1	2	3
平成27年度		1	1
平成29年度		2	2
平成30年度			
令和元年度	1		1
令和2年度		2	2
令和3年度	1	1	2
令和4年度	1	6	7
令和5年度	2		2
令和6年度	1	3	4
令和7年度	4	5	9
計	12	22	34

## 6 退去動向

理由	人数
入院加療	
施設入居	9
自宅復帰	
計	9

## 7 入居者収入階層状況

階層	区分 (円)	人数
1	1,500,000以下	21
2	1,600,000まで	2
3	1,700,000まで	2
4	1,800,000まで	
5	1,900,000まで	4
6	2,000,000まで	
7	2,100,000まで	
8	2,200,000まで	1
9	2,300,000まで	3
10	2,400,000まで	
11	2,500,000まで	
12	2,600,000まで	1
13	2,700,000まで	
14	2,800,000まで	
15	2,800,000以上	
計		34

8 介護保険認定者推移（各年度 3月）

年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4
平成22年度	11	8	8	7	1		
平成23年度	11	1	12	7	3	1	
平成24年度	10	6	9	7	3	1	
平成25年度	12	7	8	6	2		
平成26年度	17	3	5	5	2	1	
平成27年度	17	2	8	4	2		
平成28年度	14	3	10	2	5		
平成29年度	17	4	5	6	2		
平成30年度	14	3	11	4	2		
令和元年度	12	4	8	4	4		
令和2年度	14	5	7	7	1	1	
令和3年度	17	6	5	5	1		
令和4年度	9	6	6	10	3		1
令和5年度	7	9	5	10	3		
令和6年度	7	6	5	11	5		
令和7年度	8	8	3	11	4		

外部サービス (延回数)

サービス種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R6
デイサービス	22	28	29	26	18	19	30	27	26	21	28	29	303	398
通所リハビリ	54	47	49	48	41	49	53	46	51	45	39	48	570	605
ヘルパーサービス	275	304	250	251	246	210	213	195	243	226	210	223	2,846	2,785
訪問看護	48	58	56	56	44	52	46	35	51	53	56	55	610	516
訪問リハ	3	3	4	4	3	4	5	4	4	4	3	3	44	15
就労支援	44	44	47	49	43	38	47	41	45	39	41	48	526	483
計	446	484	435	434	395	372	394	348	420	388	377	406	4,899	4,802

## 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用人数	1,035	1,085	1,049	1,081	1,025	1,004	1,074	1,050	1,055	1,058	959	1,058	12,533
稼働率	98.5	100	99.9	99.6	94.4	95.6	98.9	100	97.2	97.5	97.8	97.5	98.1

## 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R6
岩室リハ病院	32	35	37	29	30	32	38	24	29	29	30	25	370	361
外部医療機関	18	20	18	19	15	12	23	25	21	21	21	24	237	173
計	50	55	55	48	45	44	61	49	50	50	51	49	607	534

## 入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R6
人数		2	2	2	1	1	1	3	2	1	2	2	19	34
日数		15	60	62	1	30	31	46	20	31	52	46	394	540

## 外泊 人数

日数 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1～4日	3		5	8	3	9			2	1	1		32
5～9日					2								2
10～14日													
15～19日													
20日以上													

## 会 議

- |               |     |       |         |
|---------------|-----|-------|---------|
| ・ だいろ運営懇談会    | 偶数月 | 第1火曜日 | 14時～    |
| ・ 給食定例会議      | 毎月  | 第3木曜日 | 15時30分～ |
| ・ 職員会議        | 毎週  | 1回    | 15時30分～ |
| ・ すこやか福社会定例会議 | 毎月  | 1回    | 16時40分～ |

入居サービス等基本事項及び運営懇談会の意見・要望を反映した提案事項を協議・検討した。

### ー 入居サービス等事項 ー

- ① 入居サービス・生活指導
- ② 保健衛生・健康管理
- ③ 食 事
- ④ 行事・地域交流・サークル活動
- ⑤ 防 災
- ⑥ 環境整備
- ⑦ 身元保証人との連絡調整

### ○ 職員の基本姿勢

社会福祉に携わる職員として、自らの行動に責任と自覚を持ち、目配り、気配り、心配りの姿勢で入居者一人ひとりの人格を尊重し、公平な心で入居者との信頼関係を構築し、穏やかな生活を送れるように支援努めた。

### ○ 職員研修

新潟県社会福祉協議会等の外部研修に参加し、質の高いサービスを提供できるように努め、内部研修の充実を図り、入居者により自立した生活が送れるように努めた。

#### ①施設外部研修

日時	研修・会議内容	場所	出席者
6月11日	トラブル対応研修	県社協・ズーム	小酒井
9月22日	コンフリクトマネジメント研修	県社協	大澤
10月10日	高齢者虐待防止研修会	江南区文化会館	大越
12月3日	相談援助職の記録の書き方	県社協・ズーム	石塚

②施設内研修

日時	研修・会議内容	参加人数
4月3日	百日咳にかかったら（感染症）	4人
4月14日	虐待につながる「不適切ケア」	4人
6月3日	転倒事故の起こりやすい箇所？	4人
9月4日	「その人らしさ」を大切にしたいケアを目指して（虐待）	4人
11月4日	高齢者の転倒予防の必要性について	4人
12月2日	なぜ冬に感染症が流行しやすいのか？	4人
〃	高齢者虐待について	4人
2月24日	インフルエンザについて	4人
〃	はじめよう転倒予防	4人

運営懇談会の開催内容 ★偶数月 第一 火曜日 午後2時より開催

1	開催日時	参加者	内 容
	4月1日	入居者 22名・職員4名 外出者 内訳 ディ利用 1名 作業所 1名、不参加 10名	1, 水道料について 2, 床暖房について 3, カラスの巣について
2	6月3日	入居者 26名・職員4名 外出者 内訳 ディ利用 1名 作業所 1名、不参加 6名	1, 避難訓練について 2, 正面玄関の開錠時間について 3, エアコン入替について 4, 窓・網戸について 5, 居室の窓・網戸・照明・換気扇他について
3	8月5日	入居者 25名・職員4名 外出者 内訳 ディ利用 名 作業所 1名、不参加 7名	1, 各種保険証について 2, 収入申告について
4	10月7日	入居者 24名・職員4名 外出者 内訳 ディ利用 2名 作業所 1名、不参加 7名	1, 正面玄関開錠時間について 2, 床暖房について 3, 体調不良について 4, 電気設備入替に伴う停電について

5	12月2日	入居者 23名・職員4名 外出者 内訳 ディ利用 1名 作業所 1名、不参加 8名	1, 避難訓練について 2, 医療保険証について
6	2月3日	入居者 25名・職員4名 外出者 内訳 ディ利用 1名 作業所 1名、不参加 5名	1, エレベーター点検について

## 4 入居サービス・生活指導

入居サービスについては、従来の生活状況および心身の健康状態を把握し、入居者個々の残存機能を最大限に生かし、生活の質を高水準に維持できるよう相談・援助を行った。

問題等がある場合の対応については、施設内での近況や生活状況を身元保証人に報告し、理解と協力を得た上で、在宅福祉サービスの利用を含め慎重かつ適切な対処を行った。

- 入浴は、毎週4回 [月・水・木・土] 13時30分から18時00分までを利用可能とする。  
また、健康に関心がある入居者が多いことから「お楽しみ風呂」（5月1日 菖蒲湯・12月18日 ゆず湯）で気分転換を図った。
- シャワー浴は、入浴日以外の時間内に使用できるように準備した。
- 生活指導・相談については、気軽にいつでも相談できるよう優しく、適切に入居者の立場に立って対応した。
- 生活相談員を中心に、入居者の状況、ニーズの把握と生じた支援を全入居者を対象に行った。

## 5 保健衛生・健康管理

日常生活における入居者個々の健康状態を把握して、心身の健康管理と合併症および疾病の予防に努めた。

- **定期健康診断（8月5日）**  
全入居者を対象に身体計測・血圧・採血・採尿・心電図・胸部レントゲン等を実施し、診断結果について主治医及び協力病院との連携努めた。
- **健康教室（12月16日理学療法士、1月20日地域包括支援センター岩室）**  
講師をお招きし、専門家の立場で入居者の健康維持、介護保険等の疑問についてわかりやすく説明いただく機会を提供した。

- 「けんこつ体操」・「ココから体操」（毎週木曜日・午後2時より約30分実施）  
地域交流スペースの活用し、身体活動量の維持、向上と社会的・心理的な老化防止に努めた。

## 6 食 事

食事は健康の源であり、一日の生活の中で入浴と並び大きな楽しみの1つとなっている。しかし、加齢に伴い様々な変化が生じるため、バランスのとれた栄養供給と日々楽しく食事ができるように工夫を凝らした献立づくりを心がけた。

- 給食会議（毎月第3木曜日・午後3時30分より）  
給食委託業者との業務の円滑化として、日々の食事、行事食、選択献立（年6回）、郷土料理、バイキング献立等について入居者からの意見・要望を協議し、食事を楽しむ取り組みに努める。また、食品や調理業務の衛生管理を徹底し、食中毒防止を図り、安全な食事提供に努めた。
- 嗜好調査（12月1日から15日実施）  
聞き取り形式で実施する嗜好調査結果に基づき、個別対応を基本とする食事の提供を心がけた。
- 食事環境の整備  
食堂内の雰囲気四季折々変化を持たせ、よりよい環境で食事を楽しんでいただけるように努めた。

—だいろの給食目標—

- 生活の質「QOL」の向上
- 薄味に慣れ、生活習慣病の予防
- 毎日の食事から望ましい食生活を学ぶ
- 小さな施設ならではの手作りで家庭的な食事を目指す

〈活動報告〉

行 事		行事食等	メニュー
4月	創立記念日	1日 赤 飯	ゆかりご飯、スパゲッティナポリタン
	観桜会	8日 花見弁当	カレーライス、ピザ風トースト 山菜そば、和風おろしハンバーグ
5月	誕生会	20日 いなり寿司	にゅうめん、揚げ出し豆腐 手作りハンバーグ、とんこつラーメン 卵サンド&黒糖テーブル、親子丼

6月	運動会	17日 いなり寿司	冷麦、サンドパンと黒糖フークレ スパゲッティナポリタン、新潟唐揚げ 冷やし中華、チャーハン
7月	誕生会	22日 うなちらし	夏野菜カレー、冷や汁 そうめん、青菜と枝豆ごはん 冷やし中華、ぴぎ風トースト
8月	納涼祭	26日 松花堂弁当	鶏そぼろ丼、夏野菜カレー 焼きそば、スパミートソース 冷麦、レーズンロールとツナサンド
9月	誕生会	30日 お刺身盛り合わせ	フレンチトースト、冷やし中華 天ぷら盛り合わせ、親子丼 洋風雑炊、そうめん
10月	秋のバス ハイキング	11日 おにぎり盛り合わせ	ピザ風トースト、チキンたれかつ丼 卵とじにゆうめん、五目おこわ 醤油ラーメン、きのこチキンピラフ
11月	誕生会	4日 天ぷら盛合せ	レーズンパン&卵サンド、豚汁 おでんバイキング、野菜味噌ラーメン さつま芋おこわ、山菜そば
12月	大晦日	31日 年越しそば	フレンチトースト、ハヤシライス いなり寿司、カレーうどん スパミートソース、エビピラフ
1月	元旦 誕生会	1日 おせち弁当 13日 お刺身盛り合わせ	ちらしずし、年明けうどん エビミックスフライ、サンドウィッチ 野菜味噌ラーメン、カレーライス
2月	節分会	2日 大豆おこわ 17日 エビミックスフライ	ポテトサンドとジャムパン、焼きそば もやし野菜ラーメン、ひじきおこわ 豚丼、きつねうどん
3月	誕生会	25日 生寿司	五目そば、サンドパン メンチカツ、天ぷら盛合せ ハヤシライス、ちらしずし

## 7 行事・地域交流・サークル活動

- 行事は、「親睦と親善」を目的とし入居者の意向を尊重し、自由に参加できるよう企画する。生活が単調にならずバラエティに富み季節を感じ、楽しい時間を共有できるよう支援した。

- 地域交流行事は、隣接保育園、慰問ボランティア、地域住民を積極的に行事等へ受入れることで子供たちと交流、地域社会との交流で多くの人と接する機会を設けるように支援した。
- サークル活動は、共通の趣味や興味を通じて余暇の充実、生きがいを見出し仲間作りや日常生活の活性化と心身機能の低下防止に役立つことを目的とし自主性を重んじ、主体的に活動できるよう協力・支援した。

### 1 サークル活動一覧表

活動時間 午後2時～午後3時

サークル名	活動日	活動回数	延参加人数
ビデオ上映会	不定期	4	46
誕生会	隔月	6	116
作りましょうの会	隔月	7	60
歌いましょうの会	隔月	11	88
お楽しみ会	月数回	11	159
けんこつ体操	毎週木曜日	43	364

### 2 外出支援一覧表

外出時間：午後1時半から午後3時半	回数	行き先	参加人数
桜・花見ツアー	4	弥彦	15
秋のバスハイキング	1	ふるさと村	7
日帰りグルメツアー（今年度中止）			

### 3 その他

- ・ 健康教室（理学療法士・社会福祉士） 2回 41名
- ・ 慰問ボランティア（民謡会・ハワイアンダンス） 2回 47名
- ・ 移動スーパー（毎週月曜日、水曜日、金曜日） 週3回 延151回
- ・ 移動美容室（ボランティア） 毎月1回 延12回

## 8 防 災

防災計画に基づき、近隣施設の協力と消防機関の指導の下、消火・通報及び避難誘導訓練を年2回実施し入居者、職員の防災に関する意識を高揚に努めた。

また、入居者が高齢のため非常の際に、迅速な避難は困難なことから日常生活において火気の取り扱いについて指導を行い防災の普及に努めた。

- 防火管理者及び防火責任者は、徹底した自主点検を実施するとともに地震その他の災害における設備・備品等の倒壊・落下・転倒防止の措置を講じた。
- 生活指導員・介護職員は、居室訪問時に安全点検・落下物・転倒防止の指導を行った。

### 【防災訓練活動報告】

	訓練内容	備 考
5月27日	総合避難訓練 参加者 25名 消火・通報、伝達、避難誘導、散水栓使用訓練	・入居者、職員の防災教育及び避難誘導訓練 ・消防用設備等点検（委託業者）
11月19日	夜間想定訓練 参加者19名 宿直者を中心とした、消火、通報、伝達、避難誘導訓練	・入居者、職員の防災教育及び避難誘導訓練 ・消防用設備等点検（委託業者）

その他

※日常重点日を定め（1，7，14，21，28日）防火対象物の自主点検実施（避難通路、空室、物品庫の施錠確認、終業時の火気確認等）

## 9 環 境 整 備

- 施設内外は、常に整理整頓・美化に努め、定期的な清掃を実施し快適な生活環境作りに務めた。
- 施設・設備についても常に良好な状態にあるように専門業者による保守点検を実施し、職員は取扱方法を熟知した。
- 施設集団感染予防のため、毎週水曜日に施設内すべての手すり等を消毒した。

【環境・整備活動報告】

月	活動内容	月	活動内容
4	加湿器撤去（食堂内） 1日 ★草取り、芝刈り、除草剤散布 16日	10	★電話器保守点検 7日 ★芝刈り、庭木剪定 11日 床暖房開始（AM7～PM19） 24日 ★カーペット清掃 24日
5	★庭木剪定 22日	11	加湿器設置（食堂内） 1日
6	★窓ガラス清掃 3日・4日 ★衛生害虫定期駆除、消毒 6日 ★換気扇・エアコンフィルター清掃 及び網戸・照明器具清掃 9日・11日	12	年末清掃週間 5日～19日 ★衛生害虫定期駆除、消毒 19日
7	室温調整	1	室温・換気調整 庭維持管理 15日・16日 ★除雪作業
8	室温調整 夏の大大清掃週刊 1日～10日	2	室温・換気調整 ★除雪作業
9	★浴槽定期水質検査 29日	3	★源泉槽定期清掃 6日 ★ろ過循環配管薬品洗浄 6日 ★貯水槽定期清掃 23日 ★床ワックス清掃 25日

施設整備・備品の整備及び修繕事項

5月	受水槽定水位弁交換工事	9月	床・流し修繕工事（居室）
6月	空調入替工事（厨房・宿直室） 受水槽ポンプ部品交換	10月	高圧機器更新工事
7月	ディッシュウォーマー入替 天井修繕工事（地域交流）	11月	外灯LED化工事（2箇所）

## 10 連絡調整

- 入居者の生活状況・家庭状況及び心身の健康状態を把握し、援助及び介護が必要になった場合、保証人との連携を深め、施設運営への協力を要請した。
- 常に市町村・介護保険サービス事業者と十分な連携をとり、在宅福祉サービスが迅速に受けられるように連絡調整に努めた。

施設見学件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本人・家族	3	2	2	2	3	1		2	1	1	1	4	22
居宅介護事業所				1				1					2

## 1 1 定期活動報告

◎健康教室（体操）

- ①けんこつ体操（筋 脳刺激体操）
- ②ココから体操（有酸素運動）
- ③その他

【頭の体操、ストレッチ、バランス体操を組み合わせた体操】

【日時】 毎週木曜日 14時～14時30分

【場所】 地域交流スペース

◎移動スーパー : 生鮮食料品・日用雑貨等の販売

【利用日】 ①月曜日 11時15分～（さいとうフーズ）

生鮮野菜、果物類

②水曜日 13時～（スーパーむつみや）

果物、野菜、お菓子、日用雑貨全般

③金曜日 15時～（マルイ巻店 とくし丸）

果物、野菜、お菓子、日用雑貨全般

【利用場所】 玄関前、玄関ロビー

◎移動図書 : 在宅図書サービス利用（岩室図書館）

【利用日】 第2、4 金曜日 15時20分～

【利用場所】 地域交流スペース

◎移動美容室 : カットかねこ

【利用日】 月1回 9時30分～

【利用場所】 1階共有スペース

## 1 2 事故報告、苦情、要望、ヒヤリハット

### 1、事故報告集計

発生件数 0 件

### 2、苦情・要望

苦情 0 件 要望 0 件

### 3、ヒヤリハットレポート集計

発生件数 35 件

〈発生場所〉

場所	居室	食堂	玄関	廊下	外出先
件数	22	8	2	1	2

〈形態〉

形態	転倒	配薬	その他
件数	31	3	1

〈要因〉

要因	確認不足	利用者不注意	理解不足
件数	4	29	2

- ・ 特定の入居者が居室内転倒、身体機能低下によるものが多く、ケアマネと家族と相談しながら、早めのサービス変更を行った。
- ・ 同じ職員が同じ入居者の配薬間違いがあり、本人と家族に謝罪し、同じ間違いをしないように会議で相談し対応する。

## 1 3 補助金・助成金 事業報告

■ 新潟市 新潟市軽費老人ホーム事務補助金

27,838,000円

## 事業活動反省及び次年度に向けて

### 1 行事全般について

今年度は、ボランティア受け入れを数回行い、バスハイキングも行ったので、入居者大勢いつもと違ったと喜ばれていた。

### 2 生活全般について

けんこつ体操は、女性の参加者が多く、毎回12名程に増え、新入居者の参加も増えました。

### 3 その他

今年度は、下期から退去する方が多くなり、長期入院・認知機能低下で、他施設へ移りました。職員では、宿直職員が3人体制になり、従来とおりのサービス提供ができるようになった。来年度も、入居者を楽しく安心して暮らせるように支援を行います。